

「あおがれ青枯病に強い台木は草勢が弱い」という常識を覆す

「キングバリア」は根がすごい!

～岐阜県加子母、東白川村で実施した根掘り調査より～

タキイ研究農場 たなかかなこ 田中 可奈子



青枯病耐病性+強勢の台木「キングバリア」

近年、夏秋トマト産地では毎年のように異常気象が発生し、不良環境でも有利に生育できる接ぎ木栽培では、根張りがよく栽培が安定しやすい「強勢台木」に切り替える傾向が強まっています。

一方、強勢台木は、夏秋栽培のような高温条件下で多発する「青枯病」にかなりやすい傾向があり、温暖化が進む

今、「強勢」に加え「青枯病」に対する強さを兼ね備える台木が必要です。しかし、これまでは「青枯病に強い台木は草勢が弱い」というのが常識でした。

この常識を打ち破ったのが「キングバリア」です。

「キングバリア」はトマト台木の中でトップレベルの青枯病耐病性をもち、草勢が強い複合耐病性台木です。「キングバリア」の画期的な特性は、夏秋トマトの各産地で高い評価を得て、主力台木としての栽培につながっています。

「キングバリア」根掘り調査の実施

夏秋栽培も終盤に差し掛かった2021年11月上旬、「キングバリア」を導入していただいている岐阜県中津川市加子母（J A ひがしみの東美濃夏秋トマト生産協議会）と、次作での導入を見据えた試験栽培を実施中の加茂郡東白川村（J A めぐみの美濃白川夏秋トマト部会）を訪問し、地元生産者のご協力のもと、根掘り調査を行いました。

●中津川市加子母地区での調査

最初の調査地は中津川市加子母地区です。まず驚かされたのはハウス内の土のやわらかさでした。その土は、手で簡単に掘れるほどです。日ごろ、地域で土づくりを大切にされていることがうかがわれます。栽培中期の根掘り調査では、「根張り」に高い評価をいただいていたのですが、最終の状態が気になります。根掘りは、株の周辺から株元へ、細かい根を切らないよううていに少しずつ掘り進めていきました。

開始10分、まず目についたのは、四方八方に這うように伸びる主根と、そこからクモの巣状に広がる細根。さらに株元に近づくにつれて、その根量が増加しています。1時間ほどかけて掘り上げた根の状態を見て参加者からは「まるでナイアガラの滝のようだ」と感



タキイ交配 台木用トマト

キングバリア

農林水産省登録品種
(品種名: TTM127)

特長

●青枯病に強い

青枯病の汚染度の高い圃場でも、従来品種より安定した栽培が期待できる。

●根域が広く、発根旺盛で強勢

発根力が旺盛で根量も多く、深層まで広い根圏を形成する。そのため、穂木の生育初期から後半まで草勢維持がしやすくしおれにも強い。

●B・K・F3に複合耐病性を発揮

青枯病(B)以外に、コルキールート(K: 褐色根腐病)に強い耐病性を示すほか、トマトモザイクウイルス Tm-2^a型に耐病性、かいよう病(Cmm)、萎凋病レース1(F1)・レース2(F2)・レース3(F3)、半身萎凋病レース1(V1)・レース2(V2)、根腐萎凋病(J3)、サツマイモネコブ線虫(N)に複合耐病性を示す。

嘆の声があげられました。掘り出された根は、どの株も株元付近の上根が発達し、主根と細根がバランスよく進展していました。



↑掘り上げた「キングバリア」の旺盛な根はまるで「ナイアガラ」のように直下部だけでなく根域を広げている。



↑主根+細根のバランスタイプの「キングバリア」と直根タイプの他社品種との比較。根域が広くバランスのよい「キングバリア」なら、養液栽培でも効果が期待できそう。

●加茂郡東白川村での調査

次に、加茂郡東白川村へ。こちらは毎年、青枯病の被害を懸念し、耐病性台木選定と、防除対策を施されているそうです（2021年は青枯病の被害はなし）。根を掘り進めると、加子母地区とは反対に重い土質でありながら、同様にしっかりとした細根が多く発生していました。全体を掘り起こすと、株元付近の根量はボリュームがあり、主根と細根の長さも十分な進展が認められました。こちらでは複数の台木品種を栽培されており、栽培中の3品種を根掘り調査しましたが、根量の優位性は「キングバリア」だと一目瞭然。その差に生産者も驚かされていました。



↑他社品種に比べ、根量はボリュームがあり、主根、細根ともに十分な長さがある「キングバリア」。

根張りのよさで高評価！

訪問した2地域とも「他社台木と比較し、『キングバリア』は初期の活着が早く、高温時期での草勢低下後の回復が早かった」という評価です。加子母地区では、今後「キングバリア」のさらなる導入が期待され、加茂郡東白川村では試作した3品種の中で「キングバリア」に高評価をいただきました。今回の根掘り調査で明らかとなった「キングバリア」の株元の根量の旺盛さは、初期生育から安定した栽培を可能とし、さらに、主根と細根のバランスのよさは、栽培後半までしっかりと



↑この細根の多さが、生育初期の草勢を維持し、不良環境下に耐えられるものと予想される。

た草勢維持が可能となります。そして、強青枯病耐病性をはじめとする多様な耐病性は、昨今の厳しい環境においても安定した栽培につながります。ぜひ「キングバリア」の根張りのよさで異常気象を乗り越えていただければと思います。

タキオリジナル直接定植苗

ポット不要、そのまま植えられるエコな苗

エコピット苗

特長

- ①高品質、安全安心、信頼のタキの直接定植苗。
- ②定植作業を大幅に省力化できる。
- ③根鉢を培養土のみで形成しているため圃場に異物が残らない。
- ④豊富な根量で根鉢を包むものがないためスムーズに発根する。
- ⑤9cmポット並の生育ステージで根鉢がコンパクト。

